
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

センターだより 第84号（通巻第151号）

2009年12月22日
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL：055-220-8325， FAX：055-220-8790
E-mail：jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL：http://www.cer.yamanashi.ac.jp/

■ 後期教育ボランティア学習会のご報告

12月2日（水）、M-12教室で学生主催による後期ボランティア学習会が開催されました。参加者は15名。司会は家政教育4年の齊藤春乃さん、協議コーディネーターは社会科教育4年の福澤善文さん、ボランティア体験発表は社会科教育3年の平林純さんと英語教育4年の広瀬翔さんが行いました。

グループ協議では、活動してよかった点・改善点などが出されました。参加者からは、次のような感想が寄せられました。

「今回、はじめてこの学習会に参加させていただきました。自分の行っているボランティア先のことだけでなく他の学校の様子も聞けてとても参考になります。次回への自分の課題も見つかり、ぜひ、実践にうつし、さらに良くなるように改善できればと思います。」

「ボランティアならではの意見が言い合えて、ためになったし、ボランティアは1人で行くことがほとんどなので、みんなも頑張っているんだということが分かってとても嬉しかった。」

「今回のボランティア学習会では、参加者の方々とたくさん意見交換ができたので自分では思いつかない指導方法や考えをたくさん聞くことができ有意義な時間を過ごすことができた。またこのような学習会が開かれたら参加したいと思う。自分の視野を広げていきたい。」



■ 第3回期間採用者等研修会のご報告

12月5日（土）、今年度3回目の期間採用者等研修会を開催しました。期間採用や非常勤の先生方、学生の皆さん等、合計34名の参加がありました。研修では、笛吹市教育委員会生涯学習課青少年育成コーディネーターの丸山嶺男先生による講演や、現在、指導的立場で活躍中の小・高校・特別支援学校の先生方からの実践報告と質疑、また、本学キャリアアドバイザーである永田先生による教育実践的な研修を実施いたしました。受講者から次のような感想が寄せられました。

「期間採用の研修は何度も受講させていただいていますが、今回もとても良いもので参考になりました。」

早速明日から生かしていこうと思いますありがとうございます。」

「教師として子どもたちのために何をしてあげることができるか、改めて考えることができました。ありがとうございました。」

「モチベーションが下がってきた今、この様な講義を受けられとても嬉しく思いました。私は、何故”先生”になりたいのかと考える日々が続いていました。臨時講師として働いて教師という職に就き、喜びよりも不安に焦点を置いている自分に気付かされました。丸山先生の常に元気で！笑顔で！という言葉がお話を聞いていくうちに、素直に自分の中に入ってきてとても充実しました。ありがとうございました。」



■ 第3回連携・教育研究会のご報告

山梨県総合教育センターと教育実践総合センターによる第3回連携・教育研究会が、12月11日（金）に総合教育センターにおいて開催されました。

参加者は約40名。主な内容は、講演と学校制度・経営論に関するものでした。講演につきましては、当センター長の石川啓二教授が「近隣諸国との競争にさらされる日本の若者—比較教育的視点から見た今次学習指導要領の背景—」と題しまして、行いました。今日、諸外国、とりわけ、中国を初めとするアジア諸国の教育動向を視野に入れる中で、日本の教育についてよりよい方向を模索していくことが重要な課題になっているのではないかという提言がなされ、活発な意見交換がなされました。また、学校制度・経営論につきましては、そのねらいや科目設定の経緯、本年度の振りかえりなどが、石川センター長より報告がなされました。山梨県総合教育センターと教育実践総合センターが相互に連携・教育研究会の意義等の確認がなされました。



■ 第3回「教育相談室連絡協議会」のご報告（山梨大学地域社会連携融合プロジェクト）

第3回教育相談室連絡協議会を12月1日（火）16時半より教育相談室にて開催し、相談状況、附属学校園への支援等について協議しました。附属学校園における相談ニーズの確認と今後の在り方についても意見交換が行われました。次回は3月2日を予定しています。附属学校の教育相談に関するご意見や利用についてはセンターまでご遠慮なくお寄せください。

■ 研修会講師・研究助言等の「教師等支援活動の実施報告」に関するお願い

附属教育実践総合センターでは、研修講師・地域での講演・研究助言等の教師支援に関する実績の統計をとり、県教育委員会へ報告しております。お手数ですが、教師や保護者・児童生徒・地域の一般の方を対象とする研修会講師や講演・研究助言等、地域支援活動の実績を附属教育実践総合センターのホームページ上にあります「教師等支援活動の実施報告」にご記入いただく形で送信してください。ご協力宜しくお願い致します。

■ 「教育相談」の報告書に関するお願い

個別問題に関する教育相談を実施した方は報告書の提出をお願いします。教育相談の実施報告書については随時受け付けております。報告用紙にご記入いただいても、下記事項をメールに書き込んでお知らせいただいても、エクセルの一覧表フォーマットにご記入いただいてもかまいません。フォーマットは添付ファイルでお送りしますので、どうぞお申しつけ下さいませ。

日付	方法	相談対象	学年	性別	相談者	相談内容	備考
080401	訪問	〇〇小	小6	男	教師	発達障害児へのかかわり	(特別支援コーディネータ-)

報告用紙は教育人間科学部総務グループ入り口はって左手のレターケース（総務グループ提出箱）の教育相談専用ボックス（青いラベルです）にあります。提出は随時受け付けておりますので、谷口のレターボックス（教育実践総合センター）にお入れください。

■ 「教育相談室」及び相談室の備品をどうぞご利用ください

教育相談室（Y-304）をどうぞご利用ください。鍵は教育実践総合センター事務室（J号館4F）にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。（なお、火・木・金曜日の午後は教育実践総合センター教育相談室及び附属特別支援学校相談支援室が優先的に使います。）教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

■ 「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談」スタッフ募集

相談スタッフを募集しています。新しく着任された先生や未登録の先生方は、この機会に是非ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。新規登録をお考えの先生は、教育人間科学部附属教育実践総合センター谷口までご連絡くださいませ。ご継続いただける先生方の再登録手続きは不要ですが、相談日時等変更点がございましたら、ご連絡ください。